

SANUS®

VMF322壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 27kg以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

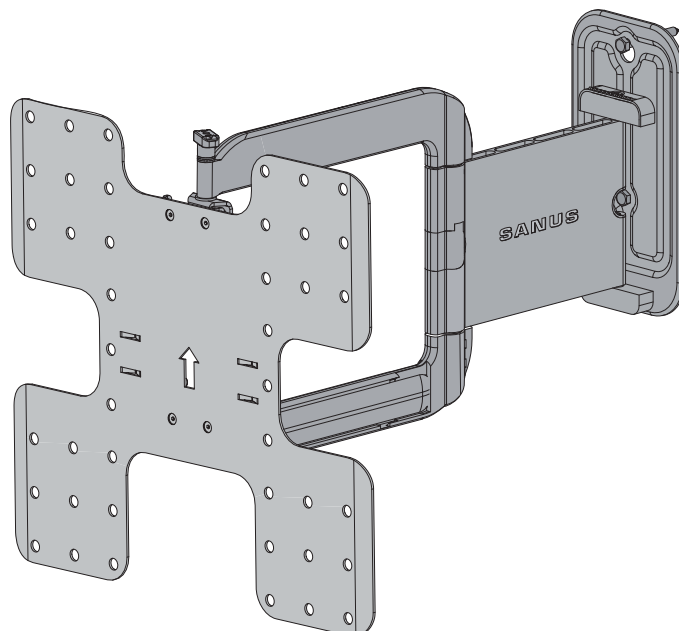
この度は、VMF322の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VMF322は32V型～50V型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6612-2008 FAX 06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com

(1)

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。VMF322 壁掛金具は、32V 型～50V 型で、総重量27kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。

又、木製やコンクリート以外の（鉄骨製などの）壁面には取り付け出来ません。

この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。

専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。

強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。

強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。

又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン（株）に連絡して下さい。

尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



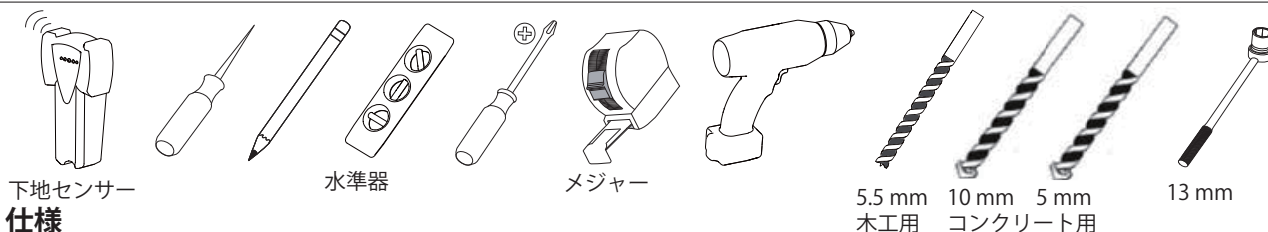
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン（株）は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



仕様

耐荷重 : 27kg (テレビと付属品を含みます)

適応テレビサイズ : 32V 型 ~ 50V 型

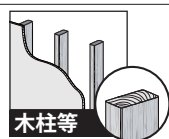
※上記を超過しないようにして下さい。

ティルト調整 : -10° 左右首振り角度 : ±90°

左右の重量バランスに違いのあるテレビを取付ける場合には、壁掛金具に取付けた後でテレビが左（もしくは右）に少し傾くことがあります。

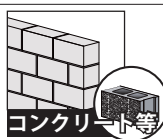
取付可能な壁面

※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm 以上が必要です。

★ しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など



★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。

★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
(空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意してください。

- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の 5 倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン (株) 又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

STEP 1 で使用する部品類

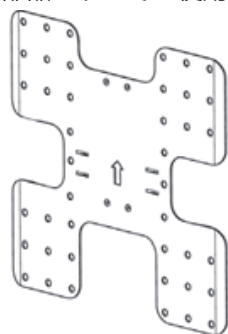


警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対に使用にならないでください。

注記 : M4、M5、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。

付属の部品をすべて使用するわけではありません。



TV ブラケット

01 x1



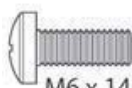
M4 x 12mm

02 x4



M4 x 30mm

03 x4



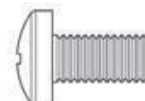
M6 x 14mm

04 x4



M6 x 40mm

05 x4



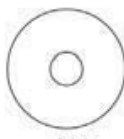
M8 x 16mm

06 x4



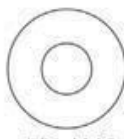
M8 x 40mm

07 x4



M4

08 x4



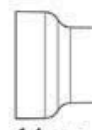
M6 / M8

09 x4



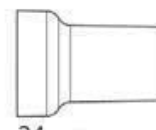
スペーサー
キャップ

10 x4



14mm

11 x4



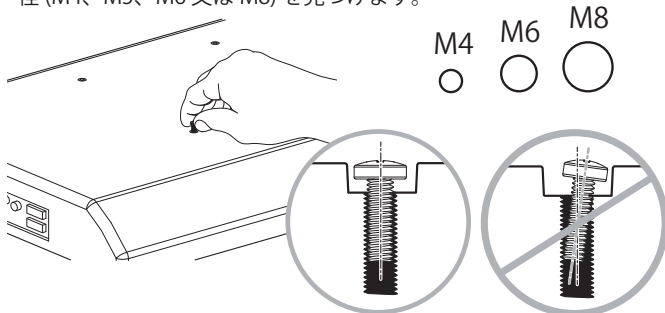
24mm

12 x4

STEP 1 ブラケットをテレビに取り付ける

1-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビの形状によって、使用する部品が決まります。テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径 (M4、M5、M6 又は M8) を見つけます。

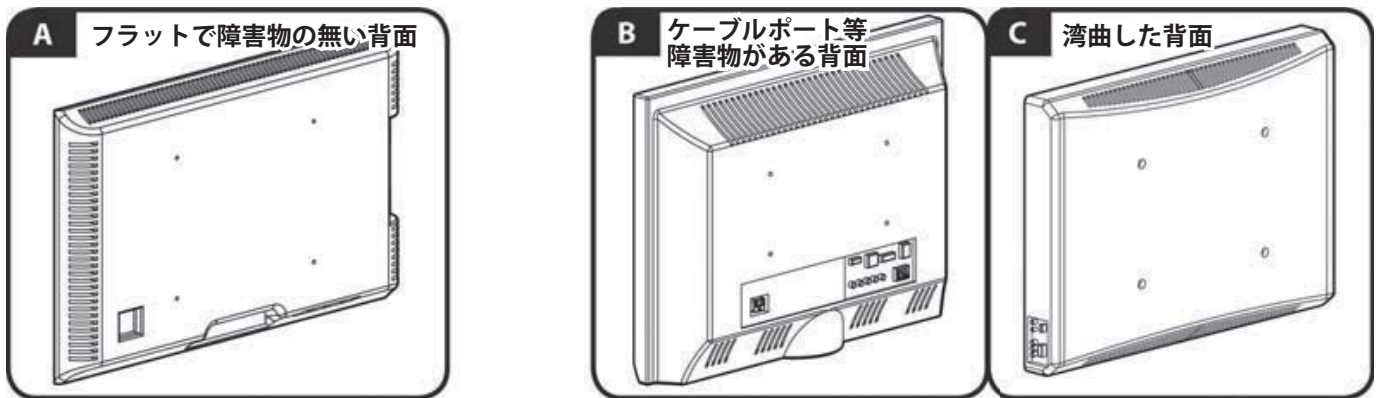


⚠ 注意 ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせて、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。
首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。
※テレビのネジ穴の深さにより、スペーサーを使う必要の無い場合もあります。



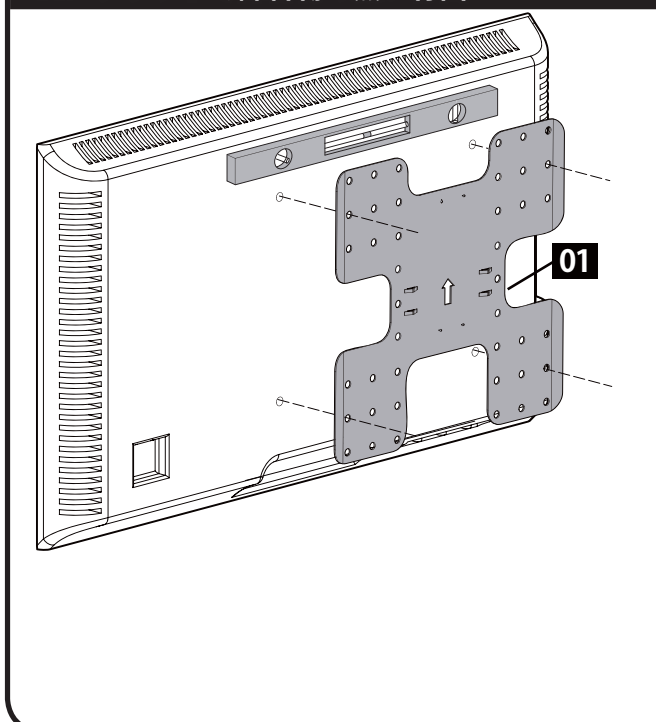
⚠ 注意 ケガをしたり、テレビを破損しないように注意してください。
同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

1-2 背面の確認

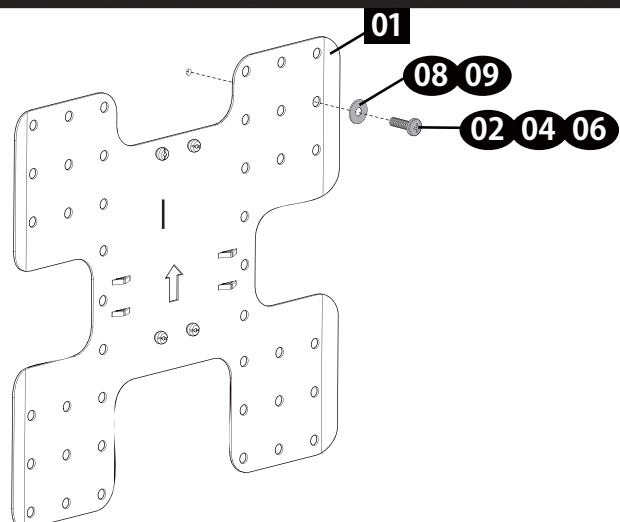


1-3 テレビにブラケットを取付ける

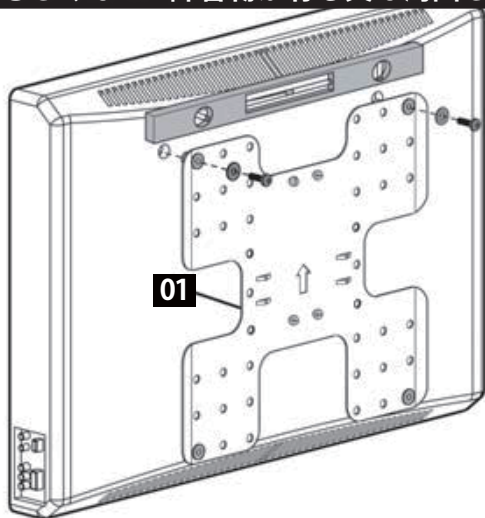
A. フラットで障害物の無い背面



- 1) TV ブラケット[01] を、1-1 で確認したネジとワッシャーを合わせて固定します。
- 2) TV ブラケットは矢印が上向になるようにして下さい。



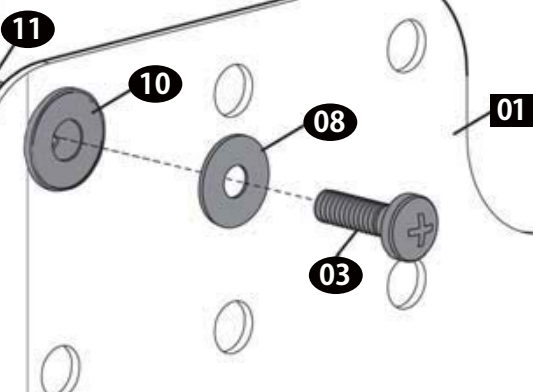
B. もしくは C. 障害物が有る又は湾曲した背面



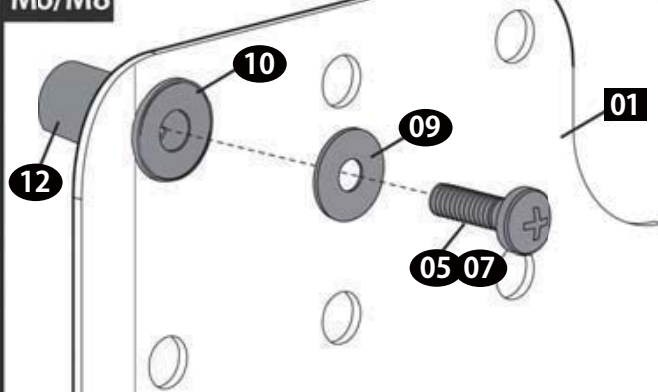
- 1) 14mmスパーサー[11]又は24mmスパーサー[12]を図のようにスパーサーキャップ[10]で挟み込み、TVブラケット[01]を、1-1で確認したネジとワッシャーを合わせて固定します。
- 2) TVブラケットは矢印が上向きになるようにして下さい。

OR

M4



M6/M8



STEP2 壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁に取り付ける場合は、6ページのSTEP 2Aに従って固定します。

コンクリート壁に取り付ける場合は、7ページのSTEP 2Bに従って固定します。

STEP 2で使用する部品類



警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。



警告 : 水準器には磁石が含まれています

ペースメーカーや埋め込み型除細動器（ICD）等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも13センチ以上離して下さい。又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。



壁掛金具型紙
13 x1



壁掛金具
14 x1



15 x2



16 x2 コンクリートアンカー

18 x1



クランプ用ボルト



17 x1 ケーブルクランプ



19 x1 クランプ用アンカー

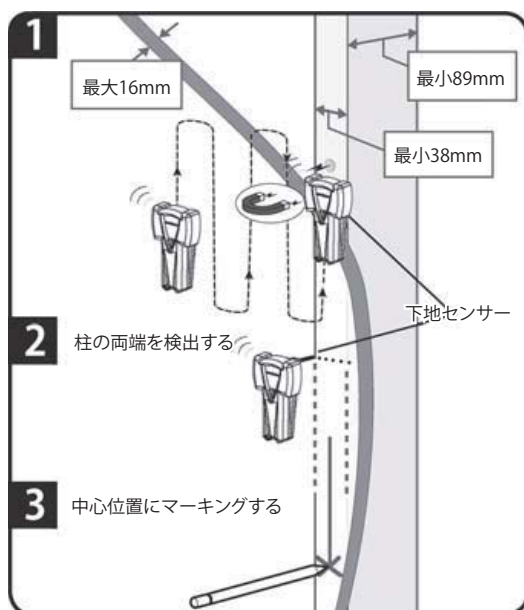
注記: 付属の部品をすべて使用するわけではありません。

STEP 2A

壁掛金具を取り付ける --- 木柱への取付例 ---

⚠ 警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
 なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

施工の条件: ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm 以下にしてください。
 ★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
 ★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。

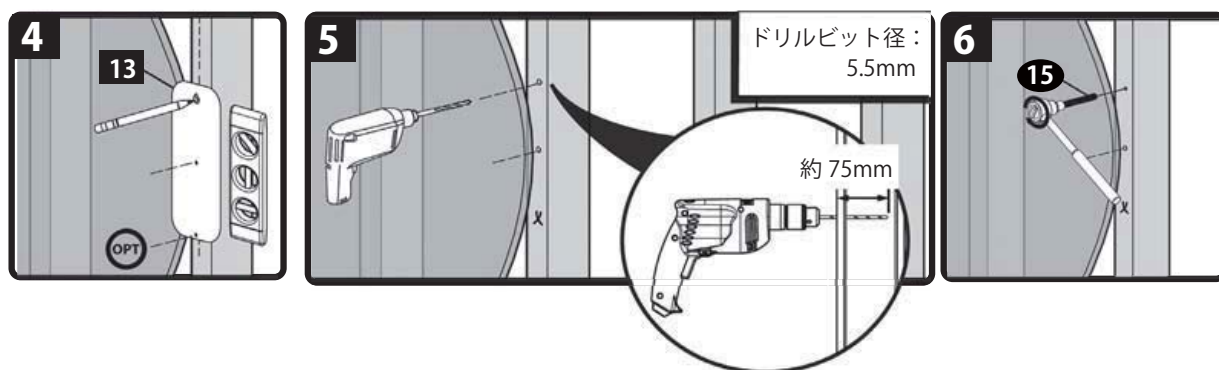


注記:

下地センサー（木柱センサー）は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。

下記の1～3は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、右図の様に柱の位置を確認します。
2. 下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。
3. 二つのマーキング（両端）から柱の中心位置にマーキングを付けます。



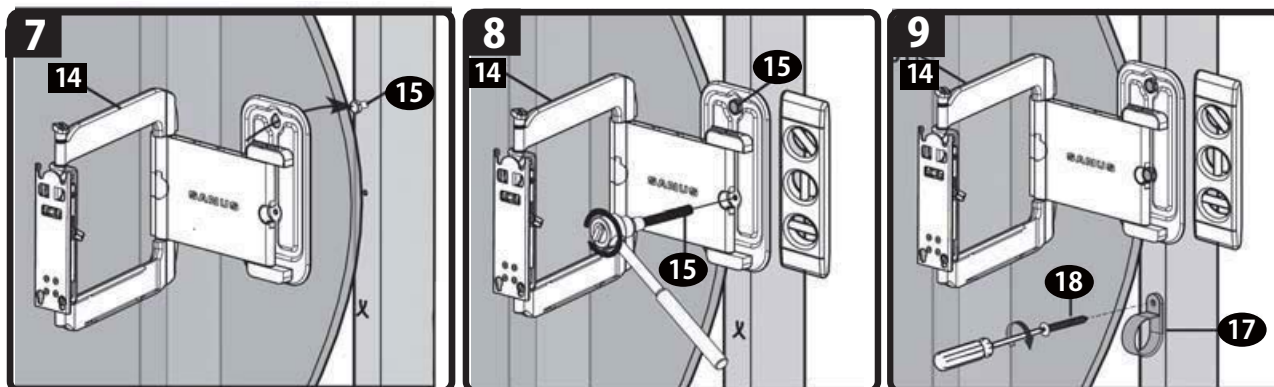
4. 壁掛金具の型紙 [13] をご希望の高さで、且つ穴位置は柱の中心線上に配置します。型紙 [13] を水準器で水平度を確認してから、ペンで壁面に印をつけます。尚、(OPT) マークの位置はケーブルクランプ [17] 用です。

重要: マーキングして下穴を開ける時は、必ず柱の中心線上でなければなりません。

5. 柱の下穴は、5.5mm 径のドリルビットを使って、おおよそ 75mm の深さに穴を 2 箇所開けます。

6. 上部のネジ穴に、ラグボルト [15] を、壁面から約 10mm 程度のスペースを残して、仮に取り付けます。

注記: この 10mm のスペースは、型紙 [13] を取り除いたり、壁掛金具 [14] をラグボルト [15] にぶら下げ易くする為のものです。



7. 壁掛金具 [14] を先ほど取付けたラグボルト [15] に引っ掛けてラグボルト [15] をきっちりと締め付けます。
8. 壁掛金具 [14] の下側の穴に、もう 1 本のラグボルト [15] をねじ込みきっちりと締め付けます。
9. 4. で (OPT) マークの位置に開けた穴にケーブルクランプ用ボルト [18] を用いてケーブルクランプを取付けます。

STEP 2 B コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

⚠ 警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

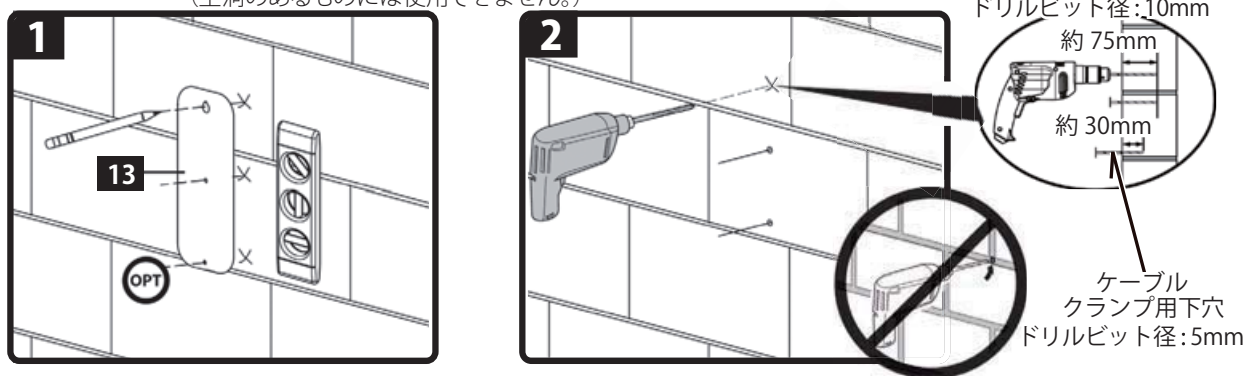
なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みの壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件：★ 壁掛金具 [13] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。

★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。

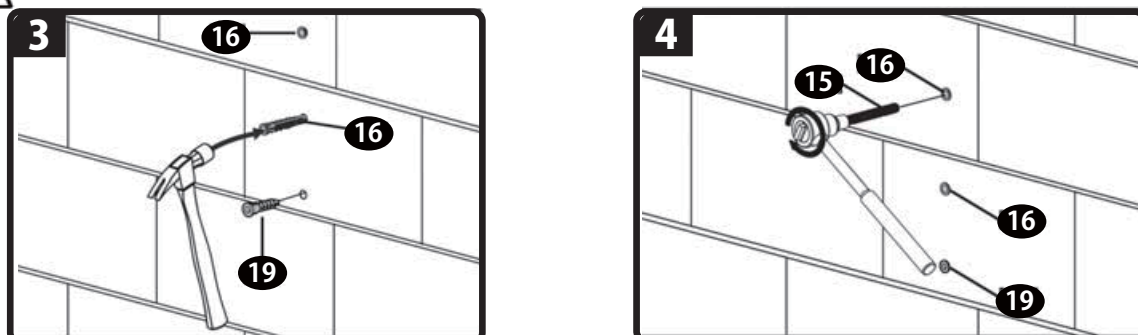
★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。

(空洞のあるものには使用できません。)

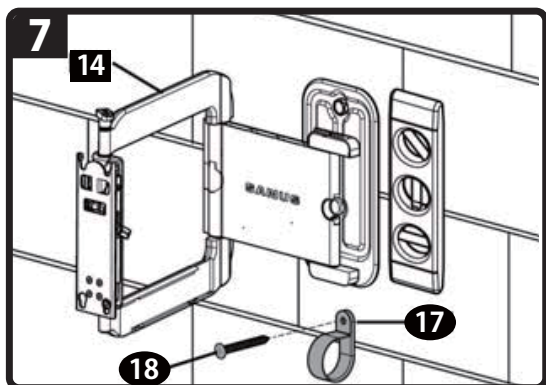
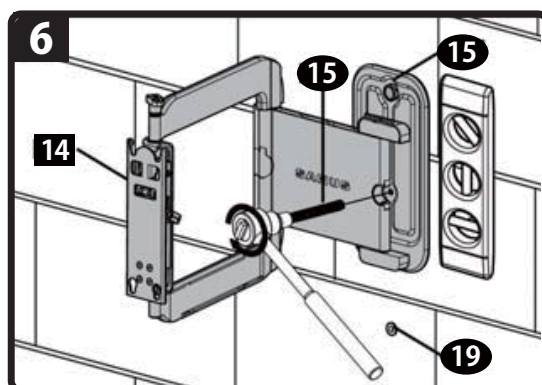
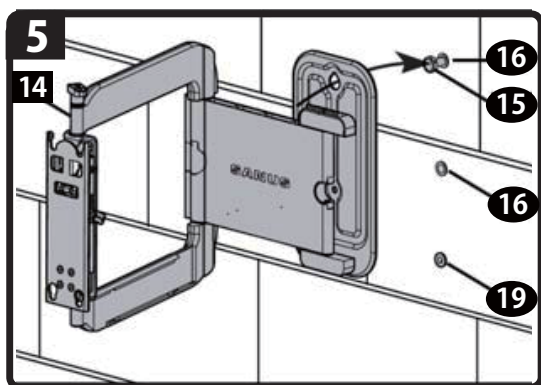


1. 壁掛金具の型紙 [13] をご希望の高さで配置します。型紙 [13] を水準器で水平度を確認してから、ペンで壁面に印をつけます。尚、(OPT) マークの位置はケーブルクランプ [17] 用です。
2. 下穴は、10mm 径のドリルビットを使って、おおよそ 75mm の深さに穴を 2 箇所開けます。ケーブルクランプ用には 5mm 径のドリルビットでおおよそ 30mm の下穴を開けます。

⚠ 注意: ブロックの間の目地 (モルタル部分) には絶対に金具を取付けないで下さい。取付強度が保てません。



3. 先に開けた下穴にコンクリートアンカー [16] を打ち込みます。3 つ目の穴にはクランプ用アンカー [19] を打ち込みます。このとき、アンカー全体が完全に下穴に隠れるまで、しっかりと打ち込んでください。
4. 上部のコンクリートアンカー [16] に、ラグボルト [15] を、壁面から約 10mm 程度のスペースを残して、仮に取り付けます。



5. 壁掛金具 [14] を先ほど取付けたラグボルト [15] に引っ掛けてラグボルト [15] をきっちりと締め付けます。
6. 壁掛金具 [14] の下側の穴に、もう 1 本のラグボルト [15] をねじ込みきっちりと締め付けます。
7. クランプアンカー [19] にはケーブルクランプ用ボルト [18] を用いてケーブルクランプ [17] を取付けます。

STEP3 テレビを壁掛金具に取り付ける



重量があります！
この作業は二人以上
で行って下さい。

STEP 3 で使用する部品類

20 x2



M4 x 12 mm
ロックネジ

21 x6

ケーブル結束バンド

22 x1

六角レンチ
M3

23 x1

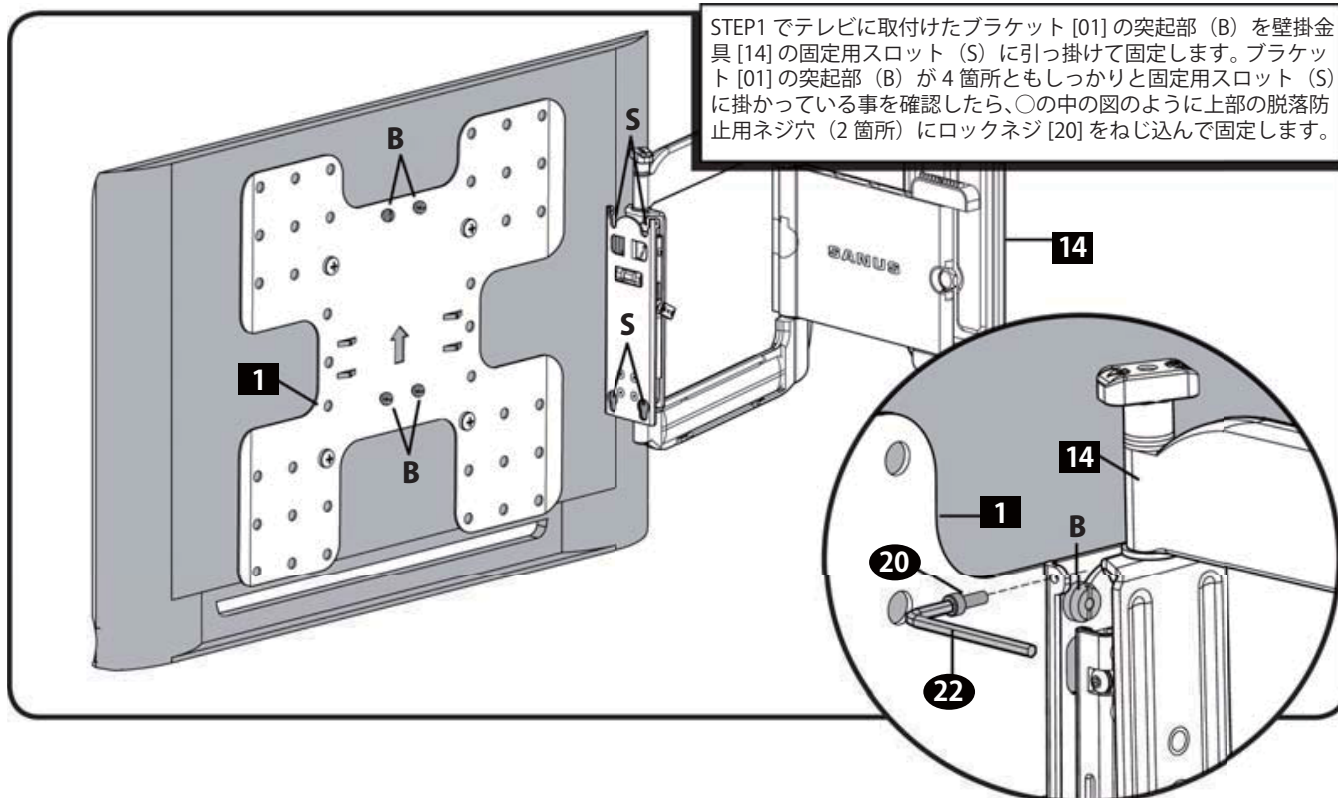
六角レンチ
5/32 in.

25 x2

ケーブルカバー

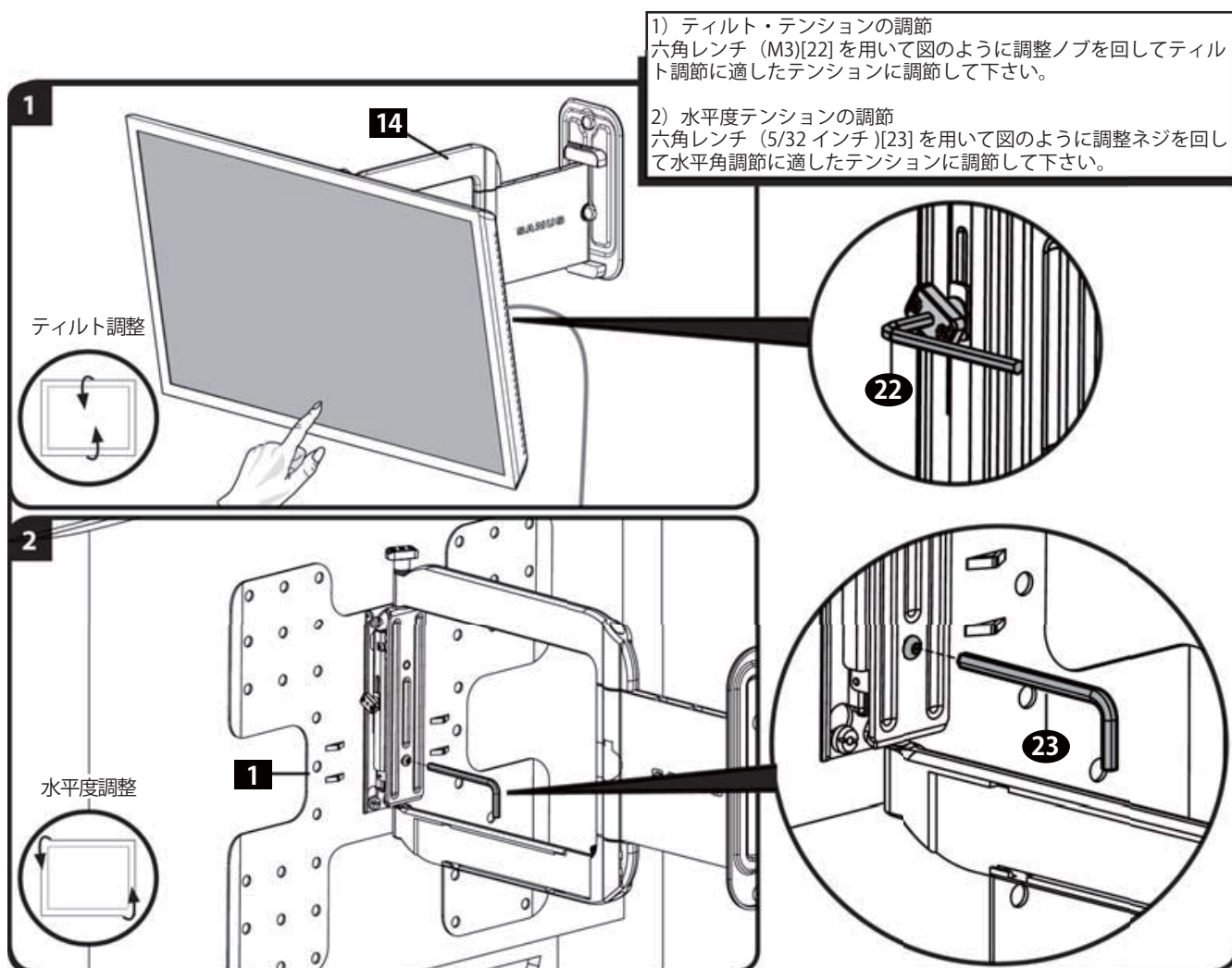
24 x2

フェルトパッド

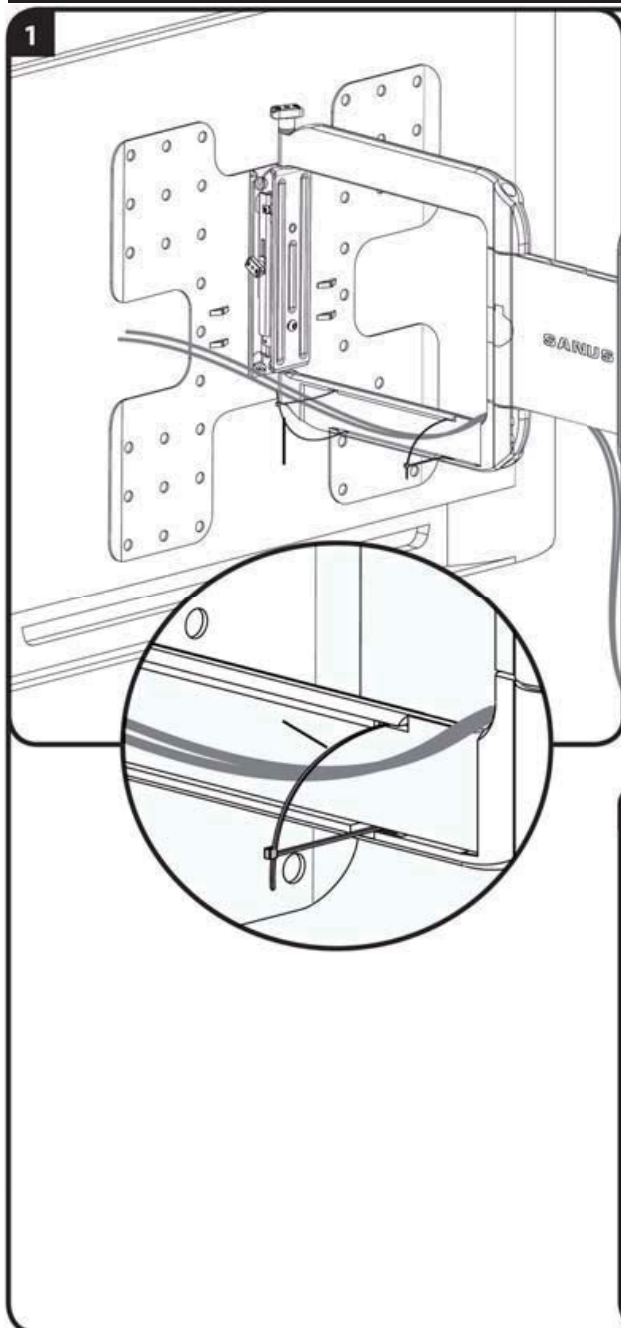


STEP1 でテレビに取付けたブラケット [01] の突起部 (B) を壁掛金具 [14] の固定用スロット (S) に引っ掛けて固定します。ブラケット [01] の突起部 (B) が 4 箇所ともしっかりと固定用スロット (S) に掛かっている事を確認したら、○の中の図のように上部の脱落防止用ネジ穴 (2 箇所) にロックネジ [20] をねじ込んで固定します。

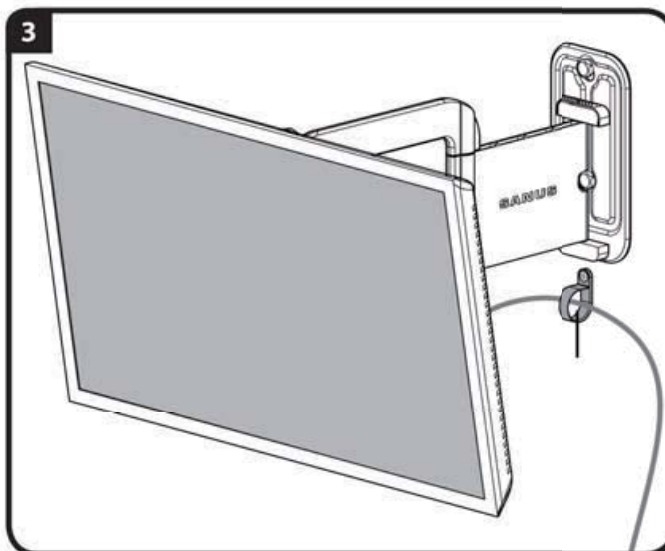
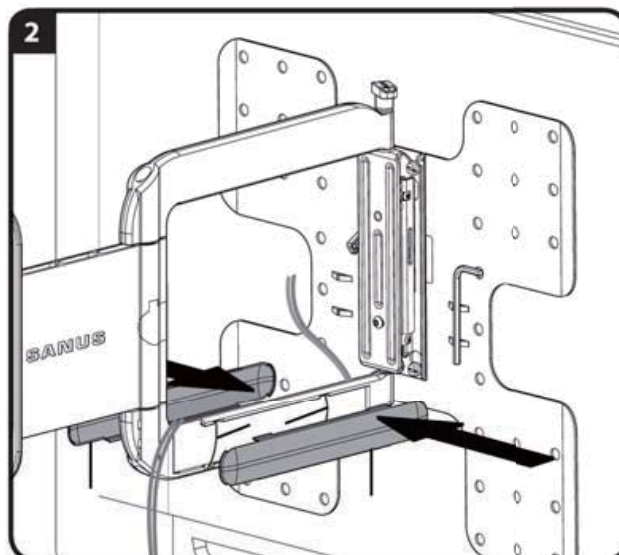
STEP4 テンションの調節



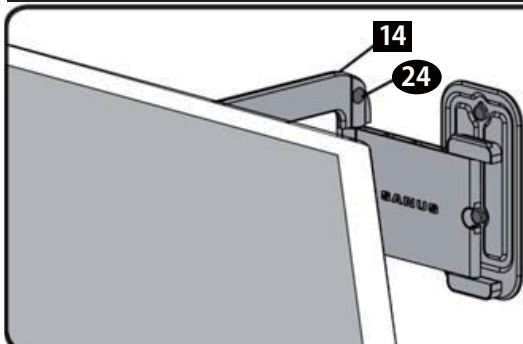
STEP6 ケーブル類の整理



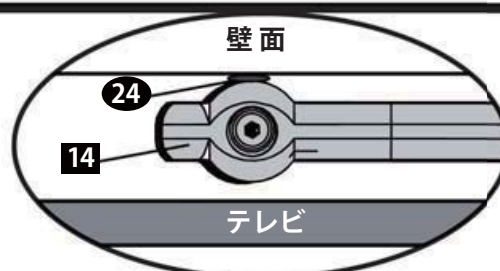
- 1) 図のように、壁掛金具 [14] のスロットにケーブル結束バンド [21] を通しておきます。
- 2) ケーブルカバー [25] を壁掛金具 [14] につりつけます。
- 3) ケーブルをケーブルクランプ [17] に通します。



STEP7 保護用フェルトの貼り付け



壁掛金具 [14] のアーム部が壁面に接触する場合には、フェルトパッド [24] を図のように貼り付けて下さい。



Memo

[illegible]

外觀圖

單位：mm

